



高気密・高断熱化するオフィスビルで、効率的かつ衛生的な加湿を実現しています。

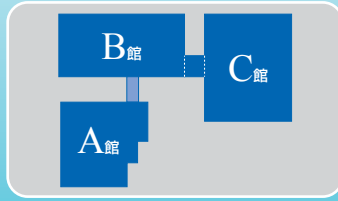
「LOSSNAY-INFORMATION」編集事務局



#### ご採用先

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様

住 所：東京都荒川区荒川  
建物延床面積：9,045m<sup>2</sup> (8階建) (C館)  
建物の種別：鉄筋コンクリート



#### ご採用機種

単独加湿ユニット:TKA-2100R×56台

単独加湿ユニット用リモコン:PT-03S×56台  
業務用ロスナイ:LGH-80RKX<sub>3</sub> 他56台



## 省エネだけでなく「加湿」にもこだわりました。

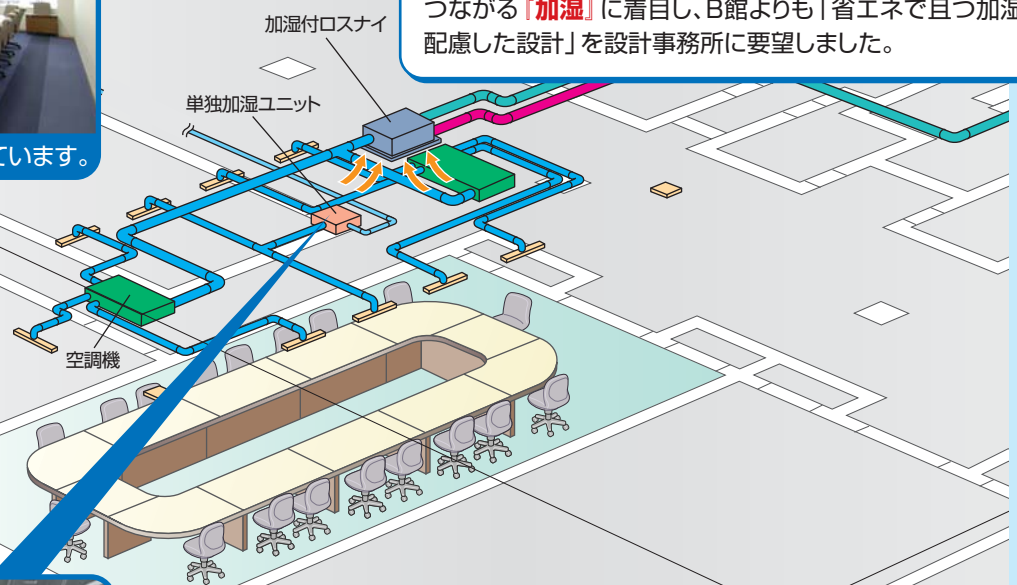


システム天井で、天井面がスッキリしています。

#### ご採用ポイント 施主様に伺いました!

4年前、B館を建築した際は「省エネ性」を考慮し、窓の配置に工夫したりひさしを使い、中間期は空調機を運転しないで済むようにしました。今回C館を建築する際は、快適性につながる「加湿」に着目し、B館よりも「省エネで且つ加湿に配慮した設計」を設計事務所に要望しました。

- 室外側吸込空気
- 室内側供給空気
- 室内側吸込空気
- 室外側吐出空気
- 配水管

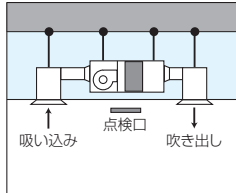


天井裏の様子。

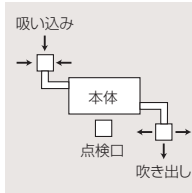
#### MEMO 1 2つの設置方式から選択可能です。

##### ①天井埋込設置 (標準)

###### ■取付側面図

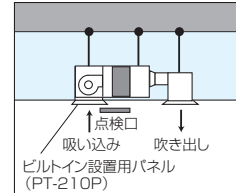


###### ■取付平面図

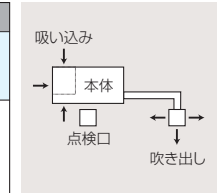


##### ②天井ビルトイン設置 (ビルトイン設置用パネル使用時)

###### ■取付側面図



###### ■取付平面図



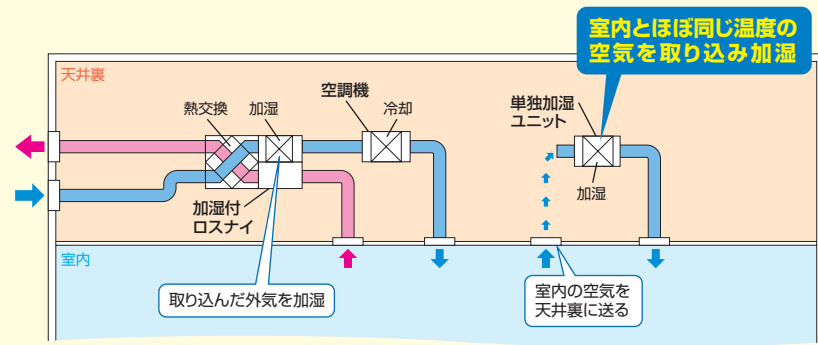
#### MEMO 2 水道直結での給水も可能です。

(社)日本水道協会  
品質認証センター登録済

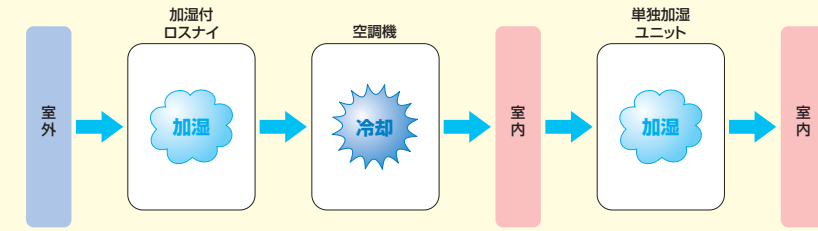
ただし、地区により制約を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄官庁にご相談ください。

# 単独加湿ユニットを使用した加湿システムのご紹介

## 単独加湿ユニット方式による外気処理方法

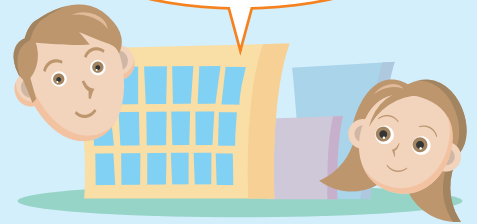


■加湿概念図

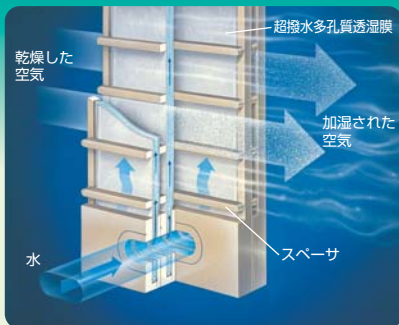


加湿付ロスナイは全熱交換による湿度回収と透湿膜加湿器による加湿で、排出分の湿度を回収しますが、それだけでは加湿不足です。単独加湿ユニット併設で、不足分を補います。単独で取付け、室内の空気を循環させるので、空調方式に左右されずに加湿が可能です。冬でも冷房運転の多い、高气密・高断熱の建物に対応した加湿システムです。

**ポイント**  
ビル内では「湿度」と「二酸化炭素濃度」の改善が必要



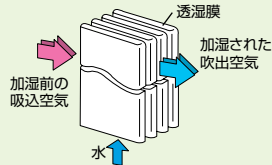
# 単独加湿ユニットのしくみ



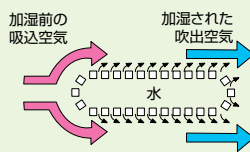
単独加湿ユニットは加湿方式に三菱独自の**透湿膜加湿器**を採用しています。

袋の中の水を袋の表面から水蒸気の状態で放出し、表面を流れる空気に含ませる加湿方式です。

### 加湿部分の積層断面図



### 加湿部分の断面図



## ご採用ポイント

設計者様に伺いました！

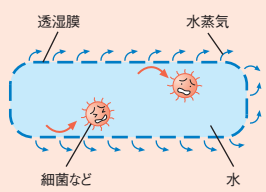


株式会社 三菱地所設計  
設備設計部 佐々木 邦治部長 様

- 単独加湿ユニットの特長は4つあります。
- 1つは「水の無駄が非常に少ない」という点です。製品の特長として給水のほぼ100%を加湿に利用するので、年間の水道代を節約することができます。
- 2つめはビル用マルチ通信システムの「G50※から運転管理ができる」ようになったことで、ビル内の空調施設を一括制御できるようになりました。
- 3つめは空調機のリモコンと加湿器のリモコンの「意匠を統一」し、見栄えよく設置することができました。新しい建物の内装の邪魔をせず、スッキリと納まりました。
- 4つめは「空調機の運転モードと無関係で加湿運転が可能」なので、室内機・加湿付ロスナイの運転モードとは関係なく、単独で運転ができます。
- 以上のメリットから、お客さまのご要望で、採用となりました。

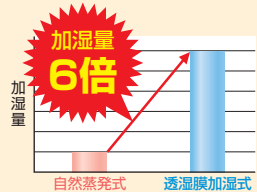
※G50とは？  
Web対応集中コントローラです。詳しい内容と価格については「三菱電機ビル空調マルチエアコンカタログ及び価格表」をご覧ください。

## 快適な加湿！



● 水蒸気のみ通過する透湿膜を利用し、快適加湿が可能です。

## 効率的に加湿！



● 同サイズの自然蒸発式加湿器に比べ、加湿量は6倍です。

## 加湿で省エネ！

給水の  
ほぼ100%を  
加湿に利用！

- 風路にセッティングするだけで加湿するので、加湿のための電力が不要です。
- 給水のほぼ100%が加湿に利用され、水道代を節約します。